

## アイスホッケーの活動時における基本的な対応方針（新型コロナウイルス対応）

### 1. はじめに

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全てのスポーツにおいて活動の制限を余儀なくされています。チームスポーツであり、身体接触が避けられないアイスホッケー競技は、仮に一人の選手やスタッフが、新型コロナウイルスに感染していた場合、関係者全員が濃厚接触者となり、隔離と検査が必要になってしまう可能性があります。
- アイスホッケーを継続的に楽しむためには、活動時に細心の注意を払い、選手やその家族、関係者、ひいては地域社会の感染拡大につながらないような対策を講じることが重要です。
- 新型コロナウイルスは、症状のない方からも感染する可能性があります。感染しないために、換気の悪い密閉空間、多くの人々が密集している密集場所、近い距離での会話や発声が行われる密接場面、いわゆる3つの「密」を回避するとともに、身体的距離の確保やマスクの着用、手指衛生などの基本的な感染対策を継続し、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を取り入れてください。
- 指導者や現場スタッフは、活動するにあたっては、十分に感染防止策を講じたうえで進めてください。なお、ジュニアチームや中学校、高校のチームでは、感染予防対策を保護者らと情報共有することも重要です。
- 国、県及び各市町村、日本スポーツ協会、日本アイスホッケー連盟などの方針を遵守し、無理な計画を立てないよう心掛けてください。
- 新型コロナウイルスへの感染は誰にでも生じ得るものです。チーム内で感染者が出た場合には、プライバシーの保護について十分に配慮し、不安をあおる行為を行わず、保健所等の指示に従うなど、冷静かつ適切な対応をお願いします。

### 2. 「基本的な対応方針」の運用について

- この「基本的な対応方針」は、アイスホッケーの活動時における留意点等をまとめたものであり、拘束力のあるものではありません。また、今後の状況等を踏まえ、適宜、見直しを行います。
- 各チーム（ジュニア、中学校、高校、大学、社会人など）においては、国や県などの方針や施設の感染防止対策を守りながら、選手やスタッフなどの安全を優先し、活動の時期や練習内容、事業実施の可否等について判断してください。

### 3. 基本的な予防対策

#### (1) 健康チェック

\*体調が良くない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）や同居家族や身近な知人に感染症が疑われている方がいる場合は、練習参加を見合わせる。

\*基本的な感染防止対策（マスクの着用、手指衛生等）に加え、練習前には体温測定を行う。  
各家庭などにおいて事前に体温測定を行う。必要に応じて、連盟より各チームへ配布する非接触型体温計やスケートセンター入り口に設置されている体表温測定センサーを活用する。

## (2) 練習記録簿の作成（練習参加メンバーや体温等を記録）

\*チーム内で感染者が出た場合、感染経路の追跡等が必要となるため、練習参加メンバーを把握する。併せて、選手等の体調管理を行う。可能な範囲でメンバーを固定する。

\*厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ」の利用を推奨する。

## (3) 一般的な注意点

\*握手をしない、抱きつかない、密集しない。

\*パックの手渡しはしない。

\*極力、人と人の距離を空ける。（1～2m）

・お互いに距離を取り、大声での声援等は控える。

・車の相乗り時等においては、マスク着用し、会話を控える。

## (4) 県外遠征等計画書の事前提出

\*連盟事業として県外遠征等を行う場合は、感染防止対策の一環として、事前に計画書を連盟事務局に提出する。（連盟HPに掲載されている様式をご利用ください。報告項目が記載されている既存資料の提出でも構いません。）

## (5) 施設の感染防止対策

\*富山スケートセンターからの注意点

・館内では全てご利用箇所の換気を行っており、アルコール除菌も気をつけておりますが利用者様の注意が一番必要となりますので、ご協力お願いします。

・館内ではマスクを着用し、外している時は話をしないようにして下さい。

・トイレの利用時は、手洗いをしっかりして石鹸やアルコールを利用して下さい。

・ある程度の着替えなども出来るだけ館外で済ませてから入場される事を推奨します。

・リンク利用の時間以外（練習前後）の館内に滞在する時間をできる限り控えて、他者との接触時間を減らして速やかにお帰り下さい。

・除菌スプレーを各自で用意し、靴の履き替え時や身の回りなど不衛生にならないように除菌出来るように準備して下さい。（館内にもありますが量に限りがあります。大量に無くなっても困りますのでご用意いただけるようお願いいたします。）

・マウスピースを直に置かないで管理して下さい。落とし物が有った場合は即破棄しますのでお気をつけ下さい。

・鼻をかんだ後のティッシュペーパーはビニール袋に入れ空気を抜いて口をしっかりと縛ってお捨て下さい。

・飲み残したペットボトルや空き缶は所定の場所へお捨て下さい。利用者やチーム責任者の方は全体を見回し忘れ物や不衛生に利用していないか確認してから退出下さい。

・唾やガムを未だに館内の床やトイレ小便器、外の灰皿の上に捨てられています、お止め下さい。

・喫煙者はご存じだと思いますが20歳未満の方を喫煙場所に近づけないようお気をつけ下さい。

・チーム代表者は選手に発熱者や健康不良を訴える者が居ないか確認し、左記の者をリンクへ来ないよう指示して下さい。

・万が一感染の疑いが見られる者が居た場合は速やかに事務所（上田）迄ご連絡頂き、最寄りの保健所へ直ぐに連絡し指示を仰いで下さい。

・上記を各チームへ送ります。皆様に徹底して頂けるようご協力お願いします。

## 4. 緊急時対応

・新型コロナウイルス感染症が疑われる方が発生した場合など（体調不良等を訴えた場合等）、緊急時においては、管轄保健所、消防署など緊急対応先に連絡するとともに、現場スタッフは、体調不良者について細心の注意を回りつつ、現場で対応をお願いします。

・緊急事態が発生した場合は、連盟事務局（緊急連絡先）まで、ご連絡ください。 連盟事務局等において、今後の対応について協議するとともに、必要に応じ、連盟内各チームへ必要事項等について通知（案内）いたします。